

授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
子どもと言葉	松田 純子	「子どもと言葉」は講義科目ではありますが、感染対策にも配慮しながら、もう少しみなさんの声を聞いたりディスカッションを取り入れたりすることで興味が深まったかもしれません。また、スライド資料の提示の切り替えスピードが少し早かったようです。今後の課題とします。 次年度の「保育内容指導法（言葉）」では、本授業の実践・応用として、絵本の読み聞かせや紙芝居の実演などの機会を多く設けたいと思っています。みなさん自身も今から積極的に経験を積んでいってください。理論と実践の往還が大切です。
心理検査法2 (心理的アセスメントb)	長崎 勤	アンケート結果を参考に次年度に生かしたいと思います
初等教科教育法（音楽）	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。受講者数が少ないため、一人ひとりの負担も大きい授業だったと思います。音楽というと、楽しければ良いという考えもありますが、そうではなく心を動かすような音や音楽との出あいの場づくり、音楽的な表現力の育ちを支えるためには、知識や技術が必要です。その面では苦勞も多かったと思います。アンケートでもこの授業を理解できたかという問いに「どちらかというとはまらない」と答えている学生がいたことに申し訳なかったなと思っています。みなさんの学びを生かそうと努力する姿勢は素晴らしかったですし、今後もその姿勢を続けてほしいと思います。分からないことがありましたら、いつでも研究室にいらしてください。これからも応援しています。ありがとうございました。
音楽	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。忙しく大変な授業だったと思います。音楽理論については難しいことをいかに伝えたら分かりやすくなるかを考えながら説明するよう努めてきましたが、アンケートでは進むスピードや説明について適切ではないと答えた学生もいたため、申し訳ないと思っています。今後より分かりやすく伝えられるよう努力したいと思います。表現の面では、影絵の活動の経過、発表を見ていて、授業で伝えてきた大切な部分を皆さんが実践できていると思いました。楽しければ良いと思うのではなく、子どもの心の動きや育ちをみとれる保育者、教育者になってほしいと思います。これからも頑張ってください。ありがとうございました。
算数	渡辺 敏	将来、教壇に立って算数を教えることを楽しんでもらえるようんば指導を心がけます。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	南雲 成二	幼小コース専攻生として、自分の目標を明確にしていく努力と、夢や課題を具体化することに真摯に取り組んでくれました。『代理不可性』ということばを大切に、お互いの成長・発達をどう協働・支援できるかを真剣に考え行動検証しあってくれたこと（行為）に、感謝！！です。（南雲）
社会心理学1 (社会・集団・家族心理学a)	水野 いずみ	今後の学習への関心が感じられました。さらによりよくしたいと思います。
脳と心（神経・生理心理学）	塩川 宏郷	人体の構造と機能で学んだ脳の構造をさらにその機能、機能の障害としての疾病という視点から理解を深めることを目指しました。内容的には非常に高度かつ心理学研究の最先端にかかわるものもあったため、難しいものとなりました。履修生はよくフォローしてきたと思います。
精神疾患とその治療	塩川 宏郷	この科目は公認心理師国家試験の出題範囲に含まれる内容なので、高度かつ難しい内容が多かったと思います。対面形式のため症例などを提示して理解を深めること、自ら問題解決のために行動することを考慮しましたが、履修生の取り組みは今一つと感じました。引き続き内容を復習し考えることを求めます。
保育実習指導2	松田 純子, 大澤 朋子	1年間受講おつかれさまでした。通年15回という時間数に加え、実習やコロナで不規則な授業日程でしたが、さすが4年生はよくスケジュール管理ができていました。
生活文化史2	細江 容子	1年生対象講義であり、大学の100分授業に慣れてもらうこと、大学で学ぶことを楽しんでもらうことができるよう配慮しながら講義を設計した。多様な文化の中での子どもや女性の人権等に関わる内容を理解する視点から、映像の視聴等で様々な社会的課題に関心をもってもらうこと、さらにグループ発表を通じてプレゼンテーション能力向上も重視した。
学習・言語心理学	長崎 勤	学習・言語心理学についての最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、学習・言語の諸側面や言語の学習支援に関心を持ってもらえればと思います。
幼児教育法	井口 眞美, 長谷川 恭子	おもちゃインストラクターが実施できなかったことは残念でしたが、4年次も保育スキル等、実践的な学びを進めていきましょう。模擬保育で学んだことをぜひ実習で活かしてください。保育では、常に、実践し、振り返り、次に生かす姿勢が大切です。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	細江 容子	4年次の卒業論文の執筆を想定し、研究とはなにか、論文を書くとはどのようなことか、講義を交えながら多くの学術論文を読みレポートすることで、論文執筆の心構えができたのねはないかと考える。課題多もくハードなゼミではあったが、学生の評価からも学生の力が確実についたゼミであったと考える。

[2021（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	井口 眞美	こどもまつりの広報誌作り、わらべ保育園との交流会の実施と、みなさんよく頑張りました。 友達と協力して一つのことを行う素晴らしさと難しさを感じたことと思います。ここで培われた協同性は、保育者になったときに必ず役立ちます。 今後は、実践してきたこと、考えてきたことを卒業論文として文章にまとめる学修を進めていきましょう。
社会	田中 正浩	回答数が半数にも満たないので本評価をもって判断するのは難しいが、多少良好な評価を得ている。評価結果を踏まえ、受講生が自身の成長を実感できるような授業をめざして、さらに工夫、改善していきたい。
音楽	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。忙しく、難しいことも多かった授業だと思います。私自身も特に音楽理論を少しでも皆さんに理解してもらえるように努めてきましたが、アンケートの内容を理解できたかの問いに「どちらともいえない」「どちらかというのではまらない」と答えた方もいらしたので、申し訳ない気持ちです。今後、より分かりやすく伝えられるよう努力したいと思います。 皆さんが意欲的に取り組んでいたことは、授業での学びの姿勢や課題への取り組みからも感じていました。特に、影絵の活動、発表では、表現で大切にすべきことが実践できていたように思い、とてもうれしく思いました。今後も努力し続けてほしいと思います。ありがとうございました。
道徳の指導法	渡辺 敏	より多くの学生の皆さんが道徳の指導を試みたくなるような授業を目指します。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	大澤 朋子	1年間の受講おつかれさまでした。 コロナの影響で学外活動ができませんでした。次年度機会があれば見学等もセッティングしたいと思います。
臨床心理学2 (心理学的支援法)	五味 美奈子	コースニュースに総括をアップさせていただいた通り、初回から最終回まで受講生のみなさんが関心を持って授業に臨んでいたことが伺えました。専門的知識と技術を求められる仕事ですが、その前に人としての自分の在り方を問われる場面も多くあります。学生時代に様々なことに関心を持ったり、趣味を充実させるなど心を動かし豊かな時を過ごされることを願っています。
男女共同参画社会と生活	細江 容子	特に10の「担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか」という部分のに関して、今後講義中に学生に確認しつつ授業を行っていく必要があると感じた。
教育制度論	田中 正浩	平均を下回る評価項目についてしっかりと見直し、授業づくりをしたい。とくに、双方向的な授業になるように努め、板書や配付資料においても受講生の目線で工夫をし、授業内容への理解度がより高まることをめざしていきたい。
子ども理解とカウンセリング	塚原 拓馬	回答率、評価ともに向上できるように努めていきたい。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	松田 純子	コロナ禍の中でしたが、何とか対面授業を行うことができました。後期はスケジュールが異なる施設実習もありましたが、常磐祭にも協力し合って参加することができて良かったです。紙芝居の制作も含め、総合的な学びとなったら幸いです。次年度の卒業論文に向けて、がんばりましょう。
子どもの理解と援助	松田 純子	「子どもの理解と援助」は演習科目でしたが、今年度はオンデマンド型授業ということになり、グループワークやディスカッションができず残念でした。毎回、できるだけ主体的に学ぶ課題を考えつつもですが、みなさん真面目に取り組んでくれました。次年度の実習に繋がればと思います。
保育・教職実践演習（幼稚園）	田中 正浩, 井口 眞美	まとめとしての保育現場でのグループワーク（発表）は楽しめましたか。準備の様子を見ていて、みなさんの4年間の成長をしっかりと感じました。保育技術、協同性、臨機応変さ等、保育者として求められる力を身につけて大学生活を終えられましたね。 4月からは社会人として頑張ってください。
相談援助	大澤 朋子	アンケート提出者がいなかったようなので、コメントしません。
保育実習指導 1	松田 純子, 大澤 朋子	1年間受講おつかれさまでした。 実習に合わせて週に2時間続くこともあり大変でしたね。 後期の実習報告はみなさんよく工夫されていて良かったです。
図画工作	井口 眞美	終盤はオンデマンドとなってしまいましたが、小学校図画工作の実践例や、図画工作で求められる技術について理解できましたか。 小学校図画工作においては、個々の活動やグループワークを通して、一人一人が豊かに表現できる適切な教材、指導が求められます。 本年度は、影絵活動における音楽とのコラボも実施しました。総合的な学習の価値についても理解してくださいね。

[2021（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
相談援助	大澤 朋子	アンケートへ回答者が限られていましたが、相談援助についてさらに学びたいと感じている方が多くいたようです。授業での学びは基礎の基礎、今後は実践の中で学びを続けてください。
家族と生涯発達各論 a (乳幼児・児童期)	長崎 勤	家族と発達の問題についての最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族と発達の問題、特に家族におけるコミュニケーションの発達に関心を持ってもらえれば幸いです。
初等教科教育法（生活）	渡辺 敏	子どもたちと生活の学習を楽しめえるような授業を心がけます。
臨床発達心理学 2	五味 美奈子	本科目の受講生のみなさんには授業でもお伝えした通り、毎回の授業へのコメントが素晴らしく、感心させられるものばかりでした。1年次からの学びが積み重なり、しっかり消化できている印象を受けました。学生生活も残り1年となりますが、最後の1年、さらに学びが深まることと思います。これからも日常の中で子どもの姿を目にすることもあるかと思えます。みなさんの子どもを捉える視点はとても素晴らしいので、どうぞ意識してみてください。そして子どもを取り巻く大人のひとりとしての在り方を問い続けてほしいと思います。今後のみなさんのご活躍を心よりお祈りしています。
社会福祉	大澤 朋子	半年間おつかれさまでした。世の中の現象に対して、いろいろな見方がありますが、福祉的な視点で見るとこういう風に見える、というニュアンスが少しでも伝わればよいなと思います。関心のあるテーマが見つかった人は、ぜひ調べたり、研究室をたずねたりしてください。
基礎演習 1 (言語表現とコミュニケーション)	南雲 成二	「基礎演習1」の狙いと願い、8年間の「実践の歩み」については、『生活文化フォーラム第26号（P8～P9）』（2022.2.24）に詳しくまとめてあります。今年度よりの4クラス編成、参加者一人ひとりの真剣さ、誠実さがひしひしと伝わってきました。木曜日1校時にもめげず、コロナ禍にも負けず、みなさんよく努力してくれました。（南雲）
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	作田 由衣子	1名しか回答がなかったのもう少し回答数が増えるよう気を付けたいと思います。回答くださった方、ありがとうございました。成長が実感できたようでとても良かったと思います。4年生の卒論も引き続き頑張りましょう。
健康科学論 c（現代医療の課題）	塩川 宏郷	発達障害、不登校、摂食障害、虐待、少年の非行をとりあげ、現代社会にある課題を医療的な視点から解説しました。生活の中にある精神医学的な課題に気づき、解決のための行動を自らおこすための基礎的な知識習得につながることを目指しています。
健康科学概論	塩川 宏郷	健康のとらえ方、健康を守るしくみ、健康の対立概念としての疾病の理解をめざしています。講義中心の内容なので退屈な部分もあったかもしれませんが、社会にでる前に身につけておくべき知識なのでしっかりと学んでもらいたいと思います。日常生活の中にある健康問題についても今後取り入れ、人体の構造と機能および疾病とあわせて学修することによりより高度の知識を得られるように改善していきます。
基礎演習 1 (言語表現とコミュニケーション)	長崎 勤	論理的文章の書き方についての基礎的な演習でした。今回の授業を生かして、自分でも図書館の新書などどんどん読み、要約を書いていきましょう。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	島崎 あかね	後期は、自分が興味・関心のあるテーマに関する論文をレジュメにまとめたり、身体の不思議を体験したり測定器具の捜査を実際に行うなど、多岐にわたって取り組むことができたと思います。またみんなでスポーツに取り組むこともできたので、活動的なゼミができたと思います。来年度の卒論に向けて、資料の収集やアンケート作成の練習など、出来るところから少しずつ始めていきましょう。
教育学概論	田中 正浩	評価を真摯に受けとめ、受講生にとって自身の成長が実感でき、満足度の高い授業になるように、より双方向的にし、板書や配付資料をわかりやすく工夫するなど、とくに授業方法についての改善に努めていきたい。
生涯発達心理学 b	塚原 拓馬	一定以上の評価を頂くことができた。今後もこのような評価を得られるように努めていきたい。
特別活動の指導法	南雲 成二	小学校（初等）教育実践において肝心なことは、次の縦系と横系を大切にしながら「わかる・できる・つかえる・つかいこなせる・やりたくなる・もっとやりたくなる」学習を、日々の学校生活を「紡ぎ・織りなしていく」ことです。縦系は、教科学習経営（創造）。横系は学級・学年経営（創造）です。「特別活動の学習」はその紡ぎ力の要です。（南雲）
教職実践演習（幼・小）	田中 正浩, 南雲 成二	2021年度生活文化「幼小コース専攻」の皆さん、よく努力・精進してくれました。一都五県三政令市の公立小学校教員10名、幼稚園教諭1名。専攻生11人それぞれがしっかりと『教職実践演習』と取り組み、自分が主体的に選んだ「専門職の向上力・実践力」に結実させてくれました。感謝！。

[2021（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
子どもの理解と援助	松田 純子	「子どもの理解と援助」は演習科目でしたが、今年度はオンデマンド型授業ということになり、グループワークやディスカッションができず残念でした。毎回、できるだけ主体的に学ぶ課題を考えつつもですが、みなさん真面目に取り組んでくれました。次年度の実習に繋がればと思います。
生活心理研究計画法	水野 いずみ	自分の進路に向けて、最後まであきらめず、地道に頑張っていることを強く感じました。頂いた内容をふまえて、よりよくしていきたいと思います。
保育実習指導 1	松井 利恵	1年間受講おつかれさまでした。実習に合わせて週に2時間続くこともあり大変でしたね。後期の実習報告はみなさんよく工夫されていて良かったです。
生活の科学	橋 弘志, 水野 いずみ, 大川 知子, 白尾 美佳, 塩川 宏郷	医療の歴史や生活の中に溶け込んで普段は意識していないような医学・医療の問題について講義しました。関心度が高かったとは言えませんが、毎日の生活に役立つ内容を取り入れることで改善したいと思います。
児童教育法	南雲 成二, 渡辺 敏	支援が必要な児童への指導と一緒に考えていきたいです。（渡辺）児童教育法（前期14回）の取り組みの中で、なにより今までとこれからを支えてくれる学習成果物が『第1学年～第6学年 学年・学級経営案集』だと思います。児童（生徒）理解・支援の具体力を伸ばしていくこと、どうかこれからこそが勝負です。それぞれのペースと個性を大切に歩んでください。南雲先生応援（いつでも・どこでも）します。
子ども家庭福祉	大澤 朋子	半年間おつかれさまでした。福祉と教育と心理は隣接領域で、子どもや家族を支援するにはどれも必要です。将来どの専門分野から支援することになるとしても、子ども家庭福祉の基礎的な知識は必要になります。困ったときには思い出してみてください。
教職論	田中 正浩	全体として良好な評価を得ているが、板書や配付資料において受講生の目線で工夫をする必要があると感じている。受講生にとって満足度の高い、自身の成長を実感できる授業をめざし、さらに改善していきたい。
ゼミナール （論理的判断とコミュニケーション）	塩川 宏郷	後期は、各自がテーマを決め、テーマに関連するキーワードを掘り下げていき文献研究のしかたについて学修しました。卒論のテーマに続く内容や、研究の方法論について身につけることができたと感じます。
ゼミナール （論理的判断とコミュニケーション）	田中 正浩	ゼミナールにおける授業アンケートの回答は得られていない。
初等教科教育法（英語）	津田 ひろみ	1年半一緒に学ぶことができ楽しかったです。プロジェクトが最後までうまくできたのは、皆さんの頑張りと朝倉さんの協力のおかげです！ありがとうございました！感謝の気持ちでいっぱいです。
基礎演習 1 （言語表現とコミュニケーション）	田中 正浩	回答数が6割弱なので本評価をもって判断することは難しいが、受講生がもっと学びたいと思える授業にしていける必要がある考える。授業方法において受講生の意欲が喚起され、理解が深まるような工夫をしていきたい。
子どもの健康と安全	塩川 宏郷	子どもの保健を中心として、各種ガイドラインや救急について講義したほか、発達障害についての理解とその対応について学修することを中心に行いました。確認テストでは、保育士国家試験の内容に準じたもので理解度を測定しました。履修した後も繰り返し復習していただきたいと思います。
ゼミナール （論理的判断とコミュニケーション）	水野 いずみ	ひとつひとつの課題によく取り組めていたと思います。ご回答をふまえて、よりよくしたいと思います。
コミュニティ心理学	竹内 真純	本授業の狙いは、コミュニティ心理学の理論と実践について学ぶことであった。分析結果を見ると、理解度・満足度は概ね良好で、本授業の目的は達したと言える。シラバスとの一致度がやや低かったが、これは、コロナ対策によりシラバスに記載したようなグループ学習等が少なかったためだと考えられる。次回は、コロナ対策に工夫をしながら、グループ学習のような機会をより増やしたい。また、授業アンケートの回答者が非常に少なかったため、次回は授業時間中にアンケート回答時間を設けたい。
保育学演習	松田 純子	「保育学演習」は対面授業を行ってきましたが、コロナ禍のため最終回がオンデマンド授業になってしまい残念でした。それでも海外の保育・子育て支援についてのプレゼンテーションが滞りなく進められて良かったです。みなさんのいろいろな考えを聞くのも興味深いことでした。次のステップとして、みなさんたち自身によるディスカッションが行えるように指導できたらと思います。
基礎演習 1 （言語表現とコミュニケーション）	大澤 朋子	半年間おつかれさまでした。これが大学の学び?と思うような内容だったかもしれません。基礎演習 1は科目名のとおり大学での学びの基礎です。どんなふうに文献を探したらよいか、文章をどんなところに気をつけて読んだり書いたりしたらよいか。まるで国語の授業のようですが、これからの専門的な学びの中で生きてくるスキルです。卒論までぜひ覚えておいてください。

[2021（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育学	井口 眞美	できるだけ子どもや保育のイメージがもてるようにと、保育の実際を紹介する機会を多く持つようにしました。 保育において、子どもの姿を丁寧に読み取ること、一人一人の発達に応じた関わりが求められることの大切さを理解してください。 「もっと子どもと関わってみたい」と思ってもらえたなら嬉しいです。
保育原理 2	松田 純子	「保育原理2」は対面授業を続けてきましたが、最後の試験がオンラインとなりました。受講生のみなさんには不便をかけました。講義科目ではありますが、アンケートの回答にもあったように、受講生同士のディスカッションなど、もう少し機会を作った方が良かったかもしれません。今後の課題とします。授業では、発達、遊び、環境、保育者の専門性といった重要なトピックスを扱いましたが、理論を学び実践に活かせるように、また実践を通してさらに理解が深まるようにと願っています。
生活心理フィールドワーク 2	水野 はずみ, 塚原 拓馬, 作田 由衣子	コロナ禍でいろいろ大変だったと思いますが、よく取り組んでいました。 今後もよりよくしていきたいと思います。
教育方法・技術	南雲 成二	初等教育実践に欠かせない「教育方法・技術」、これから4年生で実施される『小学校教育実習4週間』の中で、できる限り具体的に体験的に学んでください。また、自分自身の小学校学習体験をよく想起して、これ・はよかったな!!（わかる・できる・つかえる・つかいこなせる）という教育方法・技術を蓄積して行ってください。（南雲）
初等教科教育法（体育）	島崎 あかね	幼少コースは少ない人数であり、指導法を実技を踏まえて体験的に学ぶのは難しい部分もありますが、とても積極的に取り組んで学びを深めてくれたと思います。「できた・できない」が他者にわかってしまう実技科目だけに、苦手な子どもへのフォローをどのようにしたらいいか、という点も含めて、授業展開を意識したつもりです。指導案の作成を通して、場や子どもたちの姿を想定することの難しさを感じたと思いますが、『生きる力』を育むことの重要性和伝えることの難しさを理解し、今後の実習等で生かしてもらえたらと思います。
生活心理フィールドワーク 1	水野 はずみ	コロナ禍で大変ななか、よく取り組んでいる様子がうかがわれました。 頂いた内容をふまえて、よりよくしていければと思います。
図画工作	井口 眞美	終盤はオンデマンドとなってしまいましたが、小学校図画工作の実践例や、図画工作で求められる技術について理解できましたか。 小学校図画工作においては、個々の活動やグループワークを通して、一人一人が豊かに表現できる適切な教材、指導が求められます。 本年度は、影絵活動における音楽とのコラボも実施しました。総合的な学習の価値についても理解してくださいね。
生活心理概論	塚原 拓馬, 作田 由衣子	高い満足度を頂くことができた。回答率を向上できるように心掛けたい。
ゼミナール （論理的判断とコミュニケーション）	高橋 桂子, 蟹江 教子	3年生の皆さん 前期は高橋、後期は蟹江先生にご担当いただきました。 蟹江先生から欲張りしました、との報告を受けています。 この調子で4年生も頑張っていきましょう。 遅刻をしない、無断欠席をしない。 社会人1歩手前です。 社会人には社会人としてのルールがあります。 少しずつ、なじんで行きましょう。高橋
心理調査法 2	水野 はずみ	大変な授業によく取り組んでいたと思います。 頂いた内容をふまえ、さらによりよい授業にしていければと思います。
生涯発達心理学演習 b	塚原 拓馬	より満足度を向上できるように努めたい。
ゼミナール （論理的判断とコミュニケーション）	渡辺 敏	卒業論文につながる学びを指導したいと考えます。
保育実習指導 2	松井 利恵	1年間受講おつかれさまでした。通年15回という時間数に加え、実習やコロナで不規則な授業日程でしたが、さすが4年生はよくスケジュール管理ができていました。
栄養学	於保 祐子	各栄養素がどのようにして生命活動に結びつくかを学び、疾患予防など今後の暮らしに生かす力をつけていただければと思います。講義をしました。課題の正解の出し方などについては今後工夫したいと思います。
ゼミナール （論理的判断とコミュニケーション）	長崎 勤	臨床の経験を生かし、興味を持ったテーマについて、文献の検索、文献研究を進めてください。

[2021（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家庭経営論2	細江 容子	1年生対象の講義であり、まずは大学での100分授業に慣れてもらい、楽しんで受講できる様に配慮し講義を設計した。学生が将来課題として抱えるであろう女性就労の問題や家事・育児、介護の問題等をDVDを用いるなどして、わかりやすく講義した。またグループワークなどを用いて課題と向き合う学生参加型の講義により、学生の満足を得られるものだったと感じる。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	塚原 拓馬	回答者なしのため今後は回答を促していきたい。
保育・教育指導の基礎	松田 純子, 井口 真美, 渡辺 敏, 大澤 朋子	この授業では保育・教育現場に行き、子どもたちと関わったり、保育・教育を観察したりする機会をもちました。幼稚園実習後の報告時には、みなさんが的確に保育を観察していることに感心しました。2年次にはこの授業の続きとして「保育・教育指導の実際」があります。実践力の向上を目指し学修を進めましょう。
保育・教育指導の実際	松田 純子, 井口 真美, 渡辺 敏, 大澤 朋子	ヒノソングの録画、幼稚園実習等、後期は現場との関わりを重視して学修を進めてきました。（まん防のため、実施できずにいますが、エプロンシアターが未実施の人も機会を設けますね）3年次には実習も控えています。自信をもって実習に臨めるよう、今後も実践的な学びを深めていきましょう。
国語	南雲 成二	こどもたちの、教員・教師の、保護者・大人たちの「言語生活」「言語文化」「言語能力」をみつめ、考え、教育実践と結ぶための『基礎学習・基盤整備学習』をしてきました。課題はあふれてきましたね。この学習体験を大学2年生の各教科教育法（国語科・算数科・生活科・理科・社会科・音楽科・図画工作科・体育科・家庭科・総合的な学習の時間、小学校外国語（英語）科、道徳、特別活動）でさらに、追求（追究）していきましょう。（南雲）
家族と生涯発達総論	細江 容子	特に10の「担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか」という部分に関して、今後講義中に学生に確認しつつ授業を行っていく必要があると感じた。今回は、Zoomを用いた講義であり、Zoom対応での方法の熟知も必要と考える。